

2020年10月1日

株式会社三菱UFJ銀行  
三菱UFJリース株式会社  
株式会社三菱総合研究所

### 福島県双葉郡浪江町におけるメガソーラー発電の商業運転開始について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 <sup>み</sup>三毛 <sup>かねつぐ</sup>兼承、以下 当行）は、三菱UFJリース株式会社（代表取締役社長：柳井 隆博、以下 MUL）、株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長：森崎孝、以下 MRI）とともに、福島県双葉郡浪江町谷津田区において、県内最大級規模のメガソーラー発電所の商業運転開始を支援いたしました。

当行は、MUL および MRI とともに東日本大震災からの復興整備事業を支援すべく、福島県および浪江町と協議を継続してまいりました。今般、MUL と MRI が出資する浪江谷津田復興ソーラー合同会社が、当行の組成したシンジケーションによる資金支援を受け、浪江町谷津田地区メガソーラー発電所（以下 本発電所）の商業運転を開始いたしました。

本発電所は、東日本大震災からの復興整備事業として浪江町復興整備計画に正式に位置付けられたものであり、直ちに営農を再開することが困難な浪江町内の敷地約 90 万㎡（約 90ha）を活用し、太陽電池出力約 60MW、年間予想発電量約 7,100 万 kWh／年の発電を行います。また、発電した電気は、福島県の復興を後押しするために 2016 年に策定された「福島新エネ社会構想」に基づいて福島送電株式会社が整備・運営する共用送電線を通じて売電を行います。

<浪江町谷津田地区メガソーラー発電所 全景写真>



<本発電所の概要>

所在地	福島県双葉郡浪江町大字谷津田字上谷津田 28-1 他
敷地面積	約 90 万 m <sup>2</sup> (約 90ha)
太陽電池出力	60,192kW (約 60MW)
年間予想発電量 (初年度)	約 7,100 万 kWh/年 一般家庭約 14,700 世帯分の年間電力消費量に相当 (1 世帯当たり 4.892kWh/年で算出。 太陽光発電協会 表示ガイドライン (2020 年度) より)
竣工	2020 年 9 月 30 日
EPC <sup>※2</sup>	大和エネルギー株式会社 (大和ハウスグループ)
事業出資者	三菱 UFJ リース株式会社、株式会社三菱総合研究所
資金支援者	株式会社三菱 UFJ 銀行、株式会社東邦銀行他金融機関

※2 Engineering, Procurement and Construction の略。発電所やプラントの建設におけるエンジニアリングの設計、資機材調達、製作、建設工事を含む一連の業務を請け負う会社を指す。

当行は、持続可能な環境・社会の実現に資するプロジェクトをサポートするとともに、今後も ESG を考慮した投融資に貢献してまいります。

以上